

津波から命を守る津波避難施設「^{つきやま}築山」を整備します

南海トラフ地震に備え災害時には津波避難施設として、平常時には市民の憩いの場として利用できる人工高台を整備します。

■築山の概要

- ・整備予定地：沼津市本字千本1906-4
- ・整備面積：約4,200㎡
- ・避難場所及び面積：避難場所A 海拔約6.5m（約110㎡）、避難場所B 海拔約15m（約150㎡）
芝生広場 海拔約13.5m（約80㎡）

■築山の特徴

- ・保育所の小さい子供たちには、普段から親しむ場所となり、いざという時には、緊急の津波避難施設となります。
- ・避難経路は、さまざまな避難者を想定して、幅が広く、手摺のついた階段とスロープを設置し、沼津港外港側の堤防からも避難することができます。また、夜間対策として太陽光照明設備を設置します。
- ・地域景観に配慮して草花・芝を植栽するほか、沼津城の城石による修景を施します。



整備予定地

■築山整備スケジュール（予定）

- 平成26年8月 施工業者決定
- 平成26年9月 工事開始
- 平成27年3月 完成予定

■築山完成後イメージ図

